

第 55 回

衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会
議事要旨

開催日時 2022年05月20日 13:30～15:00

開催場所 オンライン開催

出席者

委員長	舟田 正之	立教大学 法学部 名誉教授
委員長代理	音 好宏	上智大学 文学部 教授
委員	石岡 克俊	慶應義塾大学大学院 法務研究科 教授
委員	岡本 光正	(一社)衛星放送協会 専務理事
委員	笹島 一樹	(株)インタラクティブィ 代表取締役社長
委員	松谷 浩一	(株)スカパーJSAT ホールディングス 取締役
委員	谷口 浩司	スカパーJSAT(株) 執行役員 経営管理部門長代行
事務局	池田 邦彦	(一社)衛星放送協会 事務局長
	藤田 高弘	(株)東北新社 メディア事業部
	堀 智一	スカパーJSAT(株) メディア事業本部 放送事業部長
	酒井 陽一	スカパーJSAT(株) メディア事業部門経営企画部専任マネージャー

【資料】

- | | | | |
|------|-----------------|------|--------------------|
| 55-1 | 議事次第 | 55-5 | 「普及促進委員会」開催の状況について |
| 55-2 | 第 52 回委員会議事録案、 | | |
| 55-3 | 第 52 回委員会議事要旨案 | | |
| 55-4 | ガイドラインの運用状況について | | |

1. 委員長挨拶

舟田委員長より「第55回 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」を開催旨の宣言があった。

前回の議事録（案）並びに議事要旨（案）の確認が委員に対してなされ、了承された。

なお、「第55回衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」も、コロナ禍の影響でオンラインにて開催された。

2. 申立の有無

放送代表委員から、前回の本委員会から今日に至るまで、申立は無かったとの報告がなされた。

3. 衛星放送のプラットフォームガイドラインの運用状況について

スカパーJSAT 代表委員による説明がなされた。

(1) ガイドライン運用全般について

ガイドライン運用全般について「資料 4 ガイドラインの運用状況について」に沿って説明がなされ、ガイドラインに則り、運営されていることが報告された。また 2022 年 2 月～2022 年 4 月における状況説明があった。

また、スカパーJSAT の事業者向け情報開示について、以下のように説明があった。

経営者連絡会 実施概要

－2022 年 2 月 25 日開催（書面開催）－

Ⅱ－1－（1） 役務と提供条件の関係の透明性：「徴収した手数料等の使途概要」の説明

1. 2021年度 第3四半期の業績概要

- ・スカパー！3サービスの加入獲得コストの内訳と年度推移

Ⅱ－1－（2） 広告宣伝・販売促進の考え方：普及促進業務に関わる計画の事前説明・実施結果の報告

1. 2021年度 第3四半期の業績概要

- ・スカパー！3サービスの新規加入、解約、純増減の各件数実績の年度推移、ARPU推移
- ・番組配信の登録件数、有料購入者数
- ・2021年度 3サービスの顧客数純増減累計 見通し

2. スカパー！ 主要 5 商品の累計顧客数推移

- ・基本プランの顧客数推移、顧客解約率、複数台契約者の併契約商品状況

3. 2021年度下期 全体施策レビュー

- ・11 月：なつエモ天国 TV、12月～1月：基本プラン年末年始一挙放送、2月：基本プラン 3日間無料

4. BS スカパー！事業者連動施策レビュー
 - ・21 年度 1Q～3Q 新規/再加入獲得件数、事業者連携案件数、契約商品内訳など
5. ファン・マーケティング事例報告
 - ・プロ野球イベント、通年でのアイドルジャンルの複数ch編成
6. プレミアムサービス施策レビュー：アンテナ・STB・工事ゼロ円 CP レビューと 2022 年度の常設化
7. 番組配信サービスの取組み：新配信サービス SP00X の展開施策
8. FTTH 再送信事業の概況：エリア拡大、主要販路、多チャンネル契約推移、契約概要
9. FTTH 多チャンネル拡販施策レビュー
 - ・マンション契約者向けポスティング施策：35 万件
 - ・戸建て契約者向け DM 送付：100 万件
10. 2022 年度の施策方針と計画数値

Ⅱ-2-(3) プラットフォーム事業者に係るソフト事業の透明性：「自らが放送するコンテンツの関連収入と費用の概要、実施結果」を報告

1. 2021 年度 第3四半期のコンテンツ事業収支と年度推移

事業者連絡会 実施概要

ー2月18日、3月25日、4月28日開催（すべて Web 会議開催）ー

Ⅱ-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方:普及促進業務に関わる計画の事前説明

1. プラットフォーム編成とプロモーション予定：開催翌月以降 3 ヶ月間の予定（各月説明）
 2. 2022 年度 加入件数計画
 3. 022 年 6 月公式サイトリニューアル実施計画について
 4. カスタマーセンターにおける AI 自動応答システムの導入について
 5. 2022 年度 お試し体験・資料請求者への施策について
 6. 成年年齢引き下げに伴う対応について
 7. ワクワクプレゼントに関する共有事項（以上、3 月度）
 8. 公式サイトリニューアル実施計画変更について（4 月度）

Ⅱ-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方:実施結果の報告

1. 概況報告（各月報告）
 - ・新規、再加入、解約、純増の前月件数実績、当月見込み件数、翌月計画件、
 - ・2008 年からの顧客件数推移

[放送事業者の開閉局の動向(2022年2月～22年4月)]

スカパー!: 開局 0ch | 閉局 0ch | 事業譲渡 0ch | 社名変更 0ch | 内容等変更 0ch |

チャンネル名称・料金変更 0ch | パックセット新設・変更 1ch

プレミアム : 開局 0ch | 閉局 0ch | 事業譲渡 4ch | 社名変更 0ch | 内容等変更 0ch |

チャンネル名称・料金変更 1ch | パックセット新設・変更 1ch

[社内委員会の設置による適正性の確保(2022年2月～22年4月)]

ガイドラインの運用が適正に行われているかをチェックするためのスカパーJSAT の社内委員会は 2022 年 2 月 18 日、2022 年 4 月 8 日の開催概要が報告された。

4. スカパーからの報告に対する有識者委員、放送事業者代表委員から意見

有識者委員、放送代表委員から、チャンネルパックセットについて、質問、意見がだされ、パックセット変更等について、ガイドライン委員会でも報告するよう、スカパー代表委員に意見が出された。

また、有識者委員から、AIの自動応答システムについての質問がなされ、次回ガイドライン委員会で報告がするとのスカパー代表委員から発言があった。

5. 普及促進委員会の開催状況

資料 5 に沿って、事務局より 2022 年2月から 2022年5月までに開催された、親会第 154回から 156 回の 3 回分について報告があった。

加入状況などのほかに、スカパーJSATが開始を予定しているコンテンツデータベースの総合ソリューションサービスについて、アンテナサポートプログラムの終了、BSスカパーの終了、FTTHの促進などの報告があったことが説明された。普及促進委員会内では、BSスカパー終了について放送事業者から、110° の手数料なども踏まえて、今後のスカパーの普及促進費用の投下について意見や質問がなされたことが報告された。

有識者委員よりガイドライン委員会上でBSスカパー終了について改めて経緯を説明してほしいとの要望がなされ、スカパー側から改めて説明がなされた。また放送事業者代表委員からは、事前の説明が欲しかった、BSスカパーの代替案の議論の進め方について等の意見がなされた。

スカパー代表委員からは、BSスカパー独自のコンテンツと、放送事業者と協業しているコンテンツで、それぞれ別方向で検討をしており、放送事業者との会話も進めているとの見解が述べた。

また、放送事業者代表委員から、次回のガイドライン委員会で、加入者動向を含めて詳しくガイドライン委員会で報告してほしいとの要望が出された。

6. その他

新たにガイドライン委員会事務局として(一社)衛星放送協会事務局長である池田邦彦氏、スカパーJSAT(株) メディア事業本部 放送事業部長である堀智一氏が着任し、それぞれ挨拶をいただいた。

以上